

PADDLES SHIZUOKA

産地と工芸のプロデュースガイド

歴史を受け継ぎ、変化とともに生きる。

本書の最終章では、伝統工芸の存続に向けたビジネスモデルの構築や、戦略づくりについて触れてきました。

一方で、本書で最後に伝えたいのは、
伝統工芸が現代の経済合理性に最適化されるあまり、
先人たちが積み重ねてきた歴史や価値を置き去りにしてほしくない、ということです。

現代にはあらゆるもの、こと、情報が氾濫しています。
そのなかで、生活者一人ひとりが「本当に豊かな暮らしとは何か」を
問い直し始めています。

いまあらためて、単なるプロダクトではなく、
「文化を伝える媒体」としての暮らしの道具、伝統工芸に
確実に光が当たり始めています。

変化を恐れず、挑戦を続けていく限り、伝統工芸の未来はきっと明るい。

本書を手にとった多くの作り手の皆さんが、
さまざまな課題に向き合いながら、自らのこれからの模索していることと思います。

その歩みのなかで、本書がささやかにでも明日へのヒントとなれば嬉しいです。

Staff Credit

プロジェクトオーナー	頭師 雅之(静岡市産業振興課 地場産業係) 片山 達男(静岡市産業振興課 地場産業係) 永井 滋(株式会社大丸松坂屋百貨店 未来定番研究所 所長)
取材協力 作り手	大村 俊一(駿河竹千筋細工協同組合) 黒田 倫世(駿河竹千筋細工協同組合) 佐川 花歩(株式会社山崎製作所) 鳥羽 俊行(鳥羽漆芸) 百瀬 聡文(挽物所 639) 鷲巢 恭一郎(お茶染め Washizu.) 前田 結嬉(お茶染め Washizu.)
取材協力 アドバイザー	大治 将典(Oji & Design 代表) 大牧 圭吾(株式会社ニッポン手仕事図鑑 代表取締役社長) 永田 宙郷(株式会社 TIMELESS 代表) 西田 悠真(OTHER DESIGN デザイナー) 山田 遊(株式会社 method 代表取締役) 永井 滋(株式会社大丸松坂屋百貨店 未来定番研究所 所長)
企画/ プロジェクトマネージャー	室 諭志(株式会社ロフトワーク) 小谷 徹之(株式会社ロフトワーク)
編集 / 執筆 デザイン 撮影	細川 紗良 野田 久美子(HOZO Inc.) 長島 萌桃
事例記事	今治タオル工業組合 株式会社川島織物セルコン 株式会社能作 燕三条 工場の祭典

PRODUCE GUIDE FOR ORIGINS AND CRAFTS